

【第12期常任理事会第3回会議議事録】

日時 2022年3月25日（金） 13:00-16:30

場所 Zoom オンライン会議

出席 赤松美和子、家永真幸、大東和重、川上桃子、北波道子、洪郁如、菅野敦志、富田哲、福田円、松田康博、山崎直也（以上、常任理事）

欠席 上水流久彦、松金公正

主宰 松田康博（理事長）

書記 五十嵐隆幸（幹事）

【報告】

1. 理事長・事務局

（1）松田理事長

特になし。

（2）川上事務局担当理事

会員から事務局に寄贈していただいた書籍については、日本台湾交流協会に寄贈した。

2. 各業務担当

（1）川上総務担当理事

前回の常任理事会（2021年12月17日）後、入会1件、退会1件、シニア会員への移行1件をメール審議で承認した。

（2）山崎会計財務担当理事

配付資料にもとづき、前回常任理事会以降の主な収支について報告がなされた。

（3）福田広報担当理事

配付資料にもとづき、学会ホームページおよび学会ブログの運営状況、メーリングリスト登録状況、ウェブサイトリニューアルの準備状況について報告がなされた。

（4）赤松ニュースレター担当理事

配付資料にもとづき、ニュースレターの編集状況について報告がなされた。

（5）松金編集委員長（代理報告：家永理事）

『日本台湾学会報』（第24号）は6月の発行を目指して準備中。論説は5～6本、昨年度のシンポジウム関係5本、エッセイ1本、書評10本前後となる。

『日本台湾学会報』（第25号）では、新たな投稿ジャンルとして「研究動向」の新設を準備中である。

（6）富田企画委員長

第24回学術大会のプログラムに関して報告がなされた。

（7）菅野・洪国際交流担当理事

配付資料にもとづき、対外発信プロジェクト（学会賞論文の英訳支援）、IJTS 誌への書評推薦、WCTS への派遣、JCASA ニュースレターへの原稿提出について報告がなされた。

（8）洪文献目録担当理事

特になし。

3. その他

特になし。

【議題】

1. 第 24 回学術大会（会場校の準備状況）について（福田実行委員長）

第 24 回学術大会については、2022 年 5 月 28 日（土）から 29 日（日）の間、法政大学においてハイフレックス方式で実施することが決定した。ただし、新型コロナウイルスの感染が拡大した場合、オンライン方式へ移行する可能性もある。

なお、第 11 期理事会第 2 回会議については、学術大会開催前日の 5 月 27 日（金）に東京大学東洋文化研究所においてハイフレックス方式で実施することが決まった。

2. 学会ロゴの選定と使用について（赤松理事）

配布資料に基づき、学会ロゴ選定投票の結果と使用方法の案について報告がなされた。

5 月 27 日の第 11 期理事会第 2 回会議で「日本台湾学会ロゴマーク使用内規」の審議を行い、その承認を経て第 24 回学術大会の総会で発表および選定過程の説明をする。

3. 日本台湾学会学術賞、同特別賞の選考体制について（松田理事長）

日本台湾学会学術賞および特別賞の選考体制について報告がなされた。また、賞金額については、既存の日本台湾学会賞と同額、財源についても日本台湾学会賞と共通にすることで承認された。

4. 学会費のクレジットカード払いについて（山崎理事）

配布資料に基づき、学会費のクレジットカード払いについて、前回の常任理事会（2021 年 12 月 17 日）で出された質問への回答が説明された。審議の結果、学会費のクレジットカード払いの導入に向けて調整を進めていくことが承認された。

5. 学会文書の保管について（川上総務担当理事）

配付資料に基づき、学会の文書保存に関する規定について提案があった。第 11 期理事会第 2 回会議に付議する予定。

6. 会員の入退会について（川上総務担当理事）

入会者2名、退会者1名が承認された。

7. 次回常任理事会の日程について（川上総務担当理事）

第12期常任理事会第4回会議については、2022年7月の金曜日の実施で調整する。

以上